

ロームミュージックファンデーション スカラシップコンサート

ROHM
SEMICONDUCTOR

～夢～

次世代を担う若き音楽家たちが、
国内外で学んだ奨学生期間中の成果を披露！

京都公演 Kyoto

2023

7月29日[土] Vol.42

7月30日[日] Vol.43

8月20日[日] Vol.45

京都府立府民ホール アルティ

京都公演後援：京都府／京都市／NHK京都放送局／
一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

東京公演 Tokyo

2023

8月6日[日] Vol.44

8月26日[土] Vol.46

浜離宮朝日ホール

東京公演後援：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協賛：ローム株式会社



2023年のテーマは“～夢～”

ローム ミュージック ファンデーションの奨学生である新進気鋭のアーティストが、「夢」をテーマに極上の調べをお届けする5日間。鍵盤・弦・管楽器や声楽など幅広い分野によるソロやアンサンブルの演奏で、「夢」に溢れたクラシックの名曲をお楽しみください。

ごあいさつ

この度は、ローム ミュージック ファンデーション スカラシップ コンサートにご来場いただき、誠にありがとうございます。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションとローム株式会社は、音楽を通して豊かな文化をつくることを目的にさまざまな音楽文化支援活動を継続して実施しています。

特に奨学援助事業やセミナー事業など、音楽を学ぶ若い人たちへの支援活動に力を入れてまいりました。

このコンサートでは、奨学援助事業に関わったローム ミュージック ファンデーション 2020～2022年度奨学生が国内外で学ばれた成果を披露します。

若い音楽家によるフレッシュな演奏をお楽しみいただき、今後の更なる成長と活躍を見守ってくださることを願っています。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
ローム株式会社



公演一覧

京都公演

7月29日[土]	Vol.42 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	泉 優志 [チェロ]	関 朋岳 [ヴァイオリン]
		尾城 杏奈 [ピアノ]	中川 優芽花 [ピアノ]
7月30日[日]	Vol.43 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:00	木口 雄人 [ピアノ(歌曲伴奏)]	望月 晶 [ピアノ]
		橘和 美優 [ヴァイオリン]	山縣 美季 [ピアノ]
8月20日[日]	Vol.45 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:00	栗原 峻希 [バリトン]	吉本 梨乃 [ヴァイオリン]
		柴田 花音 [チェロ]	
8月20日[日]	Vol.44 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	石井 希衣 [フルート]	佐山 裕樹 [チェロ]
		石原 悠企 [ヴァイオリン]	清水 伶 [フルート]
8月26日[土]	Vol.46 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:00	開原 由紀乃 [ピアノ]	鷹栖 美恵子 [オーボエ]
		桑原 志織 [ピアノ]	鳥羽 咲音 [チェロ]
8月6日[日]	Vol.44 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	佐々木つくし [ヴァイオリン]	保崎 佑 [ファゴット]
8月26日[土]	Vol.46 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:00	梅崎 秀 [ピアノ]	東 亮汰 [ヴァイオリン]
		上島 緑 [メゾソプラノ]	福田 麻子 [ヴァイオリン]
8月6日[日]	Vol.44 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	東條 太河 [ヴァイオリン]	本田 莉愛 [ヴァイオリン]
			(五十音順)

東京公演

8月6日[日]	Vol.44 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	石井 希衣 [フルート]	清水 伶 [フルート]
		石原 悠企 [ヴァイオリン]	東條 太河 [ヴァイオリン]
8月26日[土]	Vol.46 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:00	泉 優志 [チェロ]	鳥羽 咲音 [チェロ]
		尾城 杏奈 [ピアノ]	東 亮汰 [ヴァイオリン]
8月6日[日]	Vol.44 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	栗原 峻希 [バリトン]	吉本 梨乃 [ヴァイオリン]
		佐山 裕樹 [チェロ]	
8月26日[土]	Vol.46 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:00	梅崎 秀 [ピアノ]	福田 麻子 [ヴァイオリン]
		上島 緑 [メゾソプラノ]	保崎 佑 [ファゴット]
8月6日[日]	Vol.44 開演 15:00 開場 14:15 終演予定 17:15	柴田 花音 [チェロ]	本田 莉愛 [ヴァイオリン]
			(五十音順)



G.タルティーニ	： ヴァイオリン・ソナタ ト短調「悪魔のトリル」	吉本 梨乃 [ヴァイオリン]、 木口 雄人 [ピアノ]
F.リスト	： 愛の夢 S.541/R.211 より 第3番 夜想曲 変イ長調 ： 歌劇「ファウスト」のワルツ (グノー) S.407/R.166	中川 優芽花 [ピアノ]
O.メシアン	： 幼な子イエスに注ぐ20の眼差しより ： 第2曲「星の眼差し」、第10曲「喜びの聖霊の眼差し」	尾城 杏奈 [ピアノ]
F.チレア	： 歌劇「アドリアーナ・ルクヴルール」より “さてモノログだ”	栗原 峻希 [バリトン]、 木口 雄人 [ピアノ]
G.ロッシーニ	： 歌劇「セビリヤの理髮師」より “私は町のなんでも屋”	木口 雄人 [ピアノ]
— 休憩 —		



吉本 梨乃 Rino Yoshimoto [ヴァイオリン]

2020、2021年度奨学生
東京音楽大学付属高等学校、エリザベート王妃音楽院

現在、ウィーン国立音楽大学でM.フリッセンシュラガー教授に、エリザベート王妃音楽院でA.デュメイ氏に師事。2022年第10回フリッツ・クライスラー国際ヴァイオリンコンクール第2位受賞。2021年10月には、ウィーンコンツェルトハウスで、ウィーン室内管弦楽団と共演。2022年は同オーケストラとソリストとしてスペインツアーを行い、大好評を得る。ウィーン放送交響楽団と楽友協会の黄金の間で共演。ブルガリアのヴァルナ音楽フェスティバルでブルガリア国立放送交響楽団、ベルギーのフラスカティオーケストラとも共演を重ねた。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の代理奏者試験に合格。

この曲についてタルティーニ自身がこう語っています。「ある夜、私は夢のなかで魂と引き換えに悪魔と契約した。悪魔にヴァイオリンを手渡してみたところ、優れた技術と知性に満ち溢れ、この世の物とも思えぬほど美しいソナタを披露した。私は飛び起きて夢で聴いた悪魔のソナタを再現しようとした。このソナタは私のどの作品よりも素晴らしい曲となり、私はこの作品を『悪魔のトリル Devil's Trill』と名付けた。」3楽章の最後の悪魔のようにトリルがたくさん出てきてどこまでも続くカデンツァから最後のコーダへかけては、弾く人も聴く人も悪魔の手中に落ちたかのように音楽のなかに飲み込まれ翻弄されるように胸に迫る迫力の一曲です。聴いてくださる皆様はこの曲の魅力全てをお伝えできる演奏をお届けします。



尾城 杏奈 Anna Ojira [ピアノ]

2022年度奨学生
パリ・エコールノルマル音楽院

2020年ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。あわせて文部科学大臣賞、スタインウェイ賞を受賞。全日本学生音楽コンクール全国大会第1位。東京交響楽団、群馬交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、トロン交響楽団と共演。CD・DVD「高崎芸術劇場T-shotシリーズvol.4」『スクワヤーピン・ピアノソナタ全集 Vol.1』をリリースし好評を得る。アカンサス音楽賞、同声会賞、藝大クラヴィアア賞を受賞し、東京藝術大学を卒業。同大学院を経て現在パリ・エコールノルマル音楽院在学中。これまでに日比谷友妃子氏、東誠三氏、B.リグット氏に師事。

「幼な子イエスに注ぐ20の眼差し」はメシアンが書いた全作品のなかでも最高峰に位置する壮大な連作であり、キリストの生涯を題材にした20曲からなる曲集です。それぞれの作品には神の主題、神秘の愛の主題、星と十字架の主題、和音の主題が循環して使用されています。イエスの生誕を告げる第2曲は星(イエスの誕生)と十字架(イエスの死)の主題が使用され、第10曲は東洋の舞曲と呼ばれる一節から始まり、喜びの主題を中心に音楽が展開されます。彼が描いた色彩、光、夢、自然への愛、深い宗教性と歓喜に満ち溢れた音楽をお届けしたいと思います。



泉 優志 Yushi Izumi [チェロ]

2022年度奨学生
東京藝術大学

名古屋市出身。第15回森の森ジュニアチェロコンクール金賞。第16回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門Age-J第2位あわせて特別賞受賞。第70回全日本学生音楽コンクール東京大学東京東高校の部第1位、同全国大会第3位。第89回日本音楽コンクールチェロ部門第3位、E.ナカミチ賞受賞。学内選抜により、東京藝術大学モーニング・コンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。東京藝術大学内にて福島賞、安宅賞、同声会賞受賞。A.メネセス、S.イッサーリスのマスタークラス受講。チェロを中島顕、高木俊彰、中木健二、山崎伸子の各氏に室内楽を磯村和英氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。2023年10月よりザール音楽大学進学予定。

この作品が作曲された当時、ソ連は独裁政治時代で、言論、思想はもちろん芸術活動に対しても異常なまでの規制が行われていました。特異な政治体制のもとを不屈の闘志で生き抜いたショスタコーヴィチは無言の抗議として、作曲を続けました。悲劇性と皮肉、抒情性が一体となって、古典と現代の感覚が融合したこの作品。ショスタコーヴィチならではの暗い情感を漂わせた歌をお楽しみください。



中川 優芽花 Yumeka Nakagawa [ピアノ]

2022年度奨学生
フランク・リスト・ワイマール音楽大学

第29回クララ・ハスキル国際ピアノコンクール優勝、および聴衆賞ほか受賞。ロベルト・シューマン国際青少年ピアノコンクールほか優勝。若い音楽家のためのフランク・リスト国際ピアノコンクールで第2位ならびに室内楽特別賞を受賞。G.グルーズマン氏に師事。



「愛の夢」第3番の原曲はドイツ詩人F.フライリヒャートの詩“おお、愛しうる限り愛せよ”を使った歌曲。そして、「ファウスト」のワルツはフランス作曲家C.グノーがドイツの文豪J.W.v.ゲーテの劇曲「ファウスト」を基づく歌劇「ファウスト」の第2幕のワルツをピアノに編曲した作品。リストの「愛の夢」は2014年、私が13歳のときに出場した「若い音楽家のためのフランクリスト国際ピアノコンクール」で演奏した曲目。今思えば、そのコンクールは私がプロの音楽家の夢へ導く最初の一步でした。現在、その夢に向かってフランクリストワイマール音楽大学で研鑽を続けています。リストは私のなかで最も重要な作曲家であり、この特別な公演で奨学生として彼の作品を演奏できることをとても嬉しく思っています。そして私の音楽の学びをサポートし、音楽家への扉を開けてくださったローム ミュージック ファンデーションに感謝いたします。



栗原 峻希 Takaki Kurihara [バリトン]

2022年度奨学生
サン・カルロ劇場オペラ研修場

東京藝術大学院オペラ専攻修了。R.スコット演出、テアトロ・オペラ・ジョコーザ《蝶々夫人》ヤマドリ役でイタリアデビュー。サン・カルロ劇場、ヴェルディ《ドン・カルロ》《マクベス》などに出演。イタリア声楽コンcorso ミラノ大賞受賞。シェリル・ミルズズオペラIDOL声楽コンクールにて聴衆賞を受賞。ロベルト・デシモーネ記念声楽コンクール第2位など受賞多数。《野村財団》芸術文化助成、文化庁新進芸術家海外研修生。イタリア三大歌劇場であるサン・カルロ劇場の第一期生に選出され、世界的歌手M.デヴィアのもと研修を積む。

一曲目はオペラ《アドリアーナ・ルクヴルール》より、舞台監督ミシヨネが、アドリアーナというスター歌手に実らぬ恋をして、舞台裏から彼女を夢見る、切ない歌を歌うシーンをお届けします。二曲目のオペラ《セビリヤの理髮師》では、街の人気者フィガロが、夢いっぱい力いっぱい街中で自分の仕事の宣伝を歌い上げるシーンです。サン・カルロ劇場で培ったイタリアの風を、皆様にお届けできるよう心を込めて歌います。



望月 晶 Aki Mochizuki [ピアノ]

2022年度奨学生
桐朋学園大学大学院

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。現在、同大学院修士課程に特待生として在籍。第89回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞(聴衆賞)。第88回大会にて、コンクール委員会特別賞受賞(ヴァイオリン部門共演)。第42回霧島国際音楽祭音楽監督賞受賞。2019、2020年度公益財団法人青山音楽財団奨学金、2022年度宗次エンジェル基金。いしかわミュージックアカデミーにて公式伴奏者を務めるなど、共演者としても幅広く活動している。これまでにピアノを今井啓子、小森谷京、練木繁夫各氏に師事。室内楽を練木繁夫、山崎伸子各氏に師事。

M.ラヴェルは、若手の登竜門であったローマ大賞に何度も落選しており、その結果に疑問を呈した記事を発端に「ラヴェル事件*」が巻き起こりました。活躍への何よりの近道であったローマ大賞の受賞を逃したころ、ラヴェルは初となる管弦楽作品『スペイン狂詩曲』を発表しました。まさに、ラヴェルにとって夢を追い続けるための作品だったのかも知れません。艶やかなスペインの響きを通して、彼の夢を感じていただけたら嬉しいです。

(出演順/学校名は奨学金給付時の在籍校)

D.ショスタコーヴィチ	： チェロ・ソナタ ニ短調 Op.40 より 第1、4楽章	泉 優志 [チェロ]、 山縣 美季 [ピアノ]
M.ラヴェル	： スペイン狂詩曲	望月 晶 [ピアノ]、 山縣 美季 [ピアノ]
G.フォーレ	： ピアノ五重奏曲 第2番 ハ短調 Op.115 より 第1、2、4楽章	関 朋岳 [ヴァイオリン]、 橘和 美優 [ヴァイオリン]、 柴田 花音 [チェロ]、 石原 悠企 [ヴィオラ]、 木口 雄人 [ピアノ]



山縣 美季 Miki Yamagata [ピアノ]

2022年度奨学生
東京藝術大学

2002年鎌倉市生まれ。第89回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルグリッチ芸術振興財団賞受賞。第44回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル入選。第35回かながわ音楽コンクールでユースピアノ部門とピアノ部門の両部門でコンクール史上初の同年二冠を果たす。NHK Eテレ「クラシック音楽館」、NHK FM「リサイタル・パッシオ」に出演。東誠三、日比谷友妃子の両氏に師事。現在、東京藝術大学宗次徳二特待奨学生として東京藝術大学4年に在学中。学内にて藝大クラヴィアア賞受賞。2022年シャネル・ビグマリオン・テイス参加アーティスト。

夜への前奏曲、マラゲーニャ、ハバネラ、祭りの4曲からなるこの作品は、スペインと深い関わりがあったラヴェルの目に映る、スペインの景色、空気、香りなどが色彩豊かに描かれています。4つの下降する音(ファ、ミ、レ、ド…)はハバネラ以外の3曲に幾度となく登場し、その度にふと懐かしさを覚えます。今回、念願の初共演となる素晴らしい音楽家の望月晶さんと、この魅力的な作品の世界を存分にお届けしたいと思います。



橘和 美優 Miyu Kitsuya [ヴァイオリン]

2021、2022年度奨学生
東京藝術大学

第89回日本音楽コンクール入選。第19回東京音楽コンクール第2位、聴衆賞。第8回仙台国際音楽コンクール第5位。第2回若い音楽家のためのモーツァルト国際音楽コンクール第2位。その他受賞多数。2021年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。第9回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第1位あわせて中部フィルハーモニー交響楽団賞、聴衆賞。これまでに、窪田茂夫、窪田寿子、大谷康子、G.ブルーの各師に師事。東京音楽大学大学院1年に、特別特待奨学生として在学中。使用楽器は、宗次コレクションより賞与されたA.Stradivari“ex.Rainville”1697年製。

この度は、ローム スカラシップ コンサートに出演させていただけますことをとても嬉しく思っております。奨学生として活動をご支援いただき、素晴らしい奨学生の皆さんと出会い、今回共演をさせていただけるということで、今からとても楽しみです。今回はフォーレのピアノ五重奏を演奏させていただきます。フォーレの魅力を存分に伝えるとともに、今回のテーマにあるように、“夢”のような時間を皆様にお届けできたらと思います。



木口 雄人 Yuto Kiguchi [ピアノ(歌曲伴奏)]

2020、2021年度奨学生
ウィーン国立音楽大学

2023年第19回ハチャトゥリアン国際コンクール第2位あわせて古典派ソナタ賞、第17回ピネロロ・トリノ国際室内楽コンクール優勝および特別賞。その他第27回ヨハネス・ブラームス国際コンクール最優秀歌曲伴奏賞など多数受賞。文化庁新進芸術家研修生。岡山芸術文化賞グランプリ、高梁市教育委員会表彰、山陽新聞奨励賞、マルセン文化賞。大阪教育大学卒業、京都市立芸術大学大学院修士課程首席修了。同大学声楽伴奏委員を1年間勤め、渡壇。ウィーン国立音楽大学大学院歌曲伴奏科首席修了および同科ポストグラデュエイト課程修了。現在、同大学室内楽科教授S.メンデル氏のもてで研鑽を積む。ウィーン在住。

この作品は14年のパリ高等音楽院の院長生活を終えて疲れ果てたフォーレが、76歳という年齢で書き上げたとは思えぬほど、瑞々しく、鮮やかな息吹が宿っています。全体としてフォーレ特有の捉えどころなく漂う空気を纏いながらも、確固たる歩みでクライマックスへ進んでいく音楽は壮観です。この曲はピアノ五重奏曲の傑作ですが、演奏頻度は多くありません。本日は、ぜひ私たちと一緒にこの素晴らしい大傑作を、こっそり目撃しましょう。



関 朋岳 Tomotaka Seki [ヴァイオリン]

2022年度奨学生
東京音楽大学

第16回東京音楽コンクール弦楽部門にて優勝。その他数々のコンクールにて入賞、優勝を果たす。これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団などと協奏曲を共演。室内楽やオーケストラにも意欲的に取り組んでおり、2017年にはチェルカトール弦楽四重奏団を結成。サントリーホール室内楽アカデミー第5期フェローとしても研鑽を積んだ。2018年より3年間NHK交響楽団アカデミー生として活動し、現在は国内主要器特別賞を受けている。

フォーレは1924年に亡くなったため、1921年に作られたこの五重奏曲是最晩年の曲といえます。この時期に作られた曲の特徴として、霧がかかったような色彩感、切れ目の曖昧なフレーズ、それにより難解なイメージを持たれることが多いです。しかしその霧のなかを睨いた末に時折見せる極上のメロディとフォーレならではの和声的響きは、まさに今回のコンサートのテーマである「夢」のようであり、そんな世界観をお届けしたいと思います。



柴田 花音 Canon Shibata [チェロ]

2022年度奨学生
トロント王立音楽院 グレン・グールド・スクール

第14回ビバホールチェロコンクール第1位。Robert W. and G. Ann Corcoran Concerto Competition 2022グランプリ受賞(カナダ)、ほか受賞多数。第52回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。現在H.J.ジェンセン氏に師事。2023年9月よりアメリカ・ノースウェスタン大学ピーネン音楽院へ特別特待奨学生として入学予定。使用楽器は宗次コレクションより賞与されたGiovanni Grancino(1694年製)、使用弓は西村賢治氏より賞与されたEugène Sartory。

ピアノ五重奏曲第2番はフォーレの器楽曲の作品の頂点をなす作品と言われています。とてもチャレンジなこの曲を、切磋琢磨しあいながらローム ミュージック ファンデーション奨学生として学ぶ同世代の仲間たちと演奏できることをとても楽しみにしております。また京都で演奏させていただくのは今回が初めてですので、京都の聴衆の皆様とフォーレの美しく壮大な世界観を共有できることを心より嬉しく思います。

ヴィオラ：石原 悠企 Yuki Ishihara 2021、2022年度奨学生

※ヴァイオリン専攻奨学生ですが、本公演はヴィオラを演奏いたします。

※プロフィールはP.5参照

*「ラヴェル事件」とは…

ローマ大賞のラヴェルの結果に対し抗議の声が上がり、最終的にローマ大賞を開催していたパリの音楽院の学長が辞任した事件。(その後、新学長としてG.フォーレが就任)

(出演順/学校名は奨学金給付時の在籍校)



C=M.ヴァイダー	：フルート組曲 Op.34	清水 伶 [フルート]、 望月 晶 [ピアノ]
C.ドビュッシー	：ヴァイオリン・ソナタ ト短調	石原 悠企 [ヴァイオリン]、 開原 由紀乃 [ピアノ]
F.プーランク	：オーボエ、ファゴットとピアノのための三重奏曲 FP43	鷹栖 美恵子 [オーボエ]、 保崎 佑 [ファゴット]、 開原 由紀乃 [ピアノ]
—休憩—		

**清水 伶** Ryo Shimizu [フルート]2022年度奨学生
ジュネーヴ高等音楽院

1998年生まれ。東京音楽大学付属高等学校、東京音楽大学を経てジュネーヴ高等音楽院学士課程卒業。現在は同音楽院修士ソリスト課程に在学中。第66回および第68回全日本学生音楽コンクール全国大会、第23回びわ湖国際フルートコンクール、第91回日本音楽コンクールなどで優勝。15歳で飯森範親指揮東京交響楽団とイベールの協奏曲を協演以降、群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ルーマニア国立管弦楽団などと協演。小澤征爾音楽塾への3度の参加のほか、2022年には小澤征爾、A.ネルソンスが指揮するサイトウ・キネン・オーケストラに参加した。これまでにフルートを堀井恵、神田寛明、工藤重典、J.ズーンの各氏に師事。

オルガニスト、バリ音楽院作曲科教授として長い間バリの楽壇の中心人物であったシャルル＝マリ＝ヴァイダーが、54歳で作曲した「組曲」。1898年当時のバリでは新しいスタイル、和声法を用いた作品が席卷するなか、この作品はどこか古典的で耳ざわりの心地良い旋律が続きます。パッサをこよなく愛したヴァイダーの等身大の音楽を、飾らず華やかにお届けできればと思います。

ピアノ：望月 晶 Aki Mochizuki 2022年度奨学生

※プロフィールはP.3参照

**鷹栖 美恵子** Mieko Takasu [オーボエ]2022年度奨学生
ハンブルク音楽院

埼玉県出身。2008、2009年、小澤征爾音楽塾に参加。2010年、東京シティア・フィルハーモニック管弦楽団1番奏者就任。2012年より東京都交響楽団首席オーボエ奏者。第25回日本管打楽器コンクールオーボエ部門第1位。東京オペラシティ主催リサイタルシリーズ「B→C」に出演。これまでにソリストとして、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。池田肇、井上恵子、宮本文昭の各氏に師事。

1924年から1926年にかけて、2年もの歳月を費やして作曲されたこの曲が完成したのは、プーランクが27歳のとき。この曲は今日、オーボエ、ファゴット、ピアノの編成のなかで最も有名な曲のひとつです。演奏していてもとても楽しい曲で、わたしの大好きな一曲です。今回の留学で、プーランクの生まれ育ったバリを訪れることができました。バリでの思い出をのせて、色彩感あふれる楽しい演奏をお届けできたらと思います。

**石井 希衣** Kie Ishii [フルート]2021、2022年度奨学生
パリ・エコールノルマル音楽院

福岡県出身。第10回神戸国際フルートコンクール第3位。第88回日本音楽コンクール第2位。第19回日本フルートコンヴェンションコンクール第1位、吉田雅夫賞受賞。つくばフルートコンクール2018第1位、中野雄&若林暢貴、戸部謹爾賞をあわせて受賞。北九州国際音楽コンクール全部門グランプリ、県知事賞受賞。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVに参加。桐朋学園芸術短期大学専攻科フルート専攻を第1位で修了。桐朋オーケストラアカデミー研修過程修了。東京藝術大学別科にて研鑽を積む。ソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団、横浜シンフォニエッタと共演。現在、パリ・エコールノルマル音楽院在学中。

ドビュッシーがバリ音楽院の学生だったころに作曲され、現存するドビュッシーの作品のなかでは一番古いものとされています。18歳らしく、とても素直で愛らしい作品です。初々しい感性と合わせて、印象派を代表とするドビュッシー特有の色彩感やリズムといった2つの面を垣間見ることができ、とても興味深い作品です。今回はヴァイオリンのパートをフルートで演奏しますが、この作品をこの編成で演奏するのは日本では初めてのことだと思いますので、新しいドビュッシーの響きをお楽しみいただけますたら幸いです。

**石原 悠企** Yuki Ishihara [ヴァイオリン]2021、2022年度奨学生
ベルリン芸術大学

第9回スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位、第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクール特別賞、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位ほか国内外のコンクールにて優勝、入賞多数。第36回霧島国際音楽祭にて、ヴァイオリンと室内楽のふたつの音楽祭賞と個人での音楽監督賞を受賞。桐朋学園大学音楽学部を経て、ベルリン芸術大学学士課程を最高点で修了。現在同大学修士課程に在籍。2019～2021年バイエルン放送交響楽団オーケストラ・アカデミー在籍。これまでに加藤知子、S.ガヴリーロフ、E.ゲルトゼッツァーの各氏に師事。

ドビュッシーがソナタというジャンルに取り組んだのは晩年になってからでした。『さまざまな楽器のための6つのソナタ』の第3作であるこの作品は、第一次世界大戦下の1916-17年に癪に侵されながら作曲され、これが彼の最期の作品となりました。冒頭の和声進行で五度圏の図形上に十字を切ってはじまるこの作品は、全楽章アメン終止で曲を閉じます。生と平和への祈り、彼が持ち続けた夢を感じられる演奏を目指します。

**保崎 佑** Yu Hozaki [ファゴット]2022年度奨学生
東京音楽大学大学院

東京音楽大学大学院音楽研究科博士後期課程の全在籍期間を特待奨学生として在籍し総代で修了。博士課程での研究が極めて学術性の高いものと評価され優秀賞を受賞し、日本初となるファゴットでの博士号(音楽)を取得する。在学中に瀬木芸術財団、ドイツ学術交流会の奨学生としてベルリンへ留学。第19回東京音楽コンクール第3位(1位なし)、第31回玉塚ベガ音楽コンクール第2位受賞。これまでにソリストとして東京交響楽団と共演、NHK交響楽団などのオーケストラに客演。現在、東京音楽大

学アーティスト・ディプロマコースに特別特待奨学生として在籍し、ファゴットを水谷上総氏に師事している。

プーランク(1899-1963)は20世紀を代表するフランスの作曲家であり、数多くの名曲を残しています。スペインの作曲家M.d.ファリャ(1876-1946)に献呈されたこの三重奏曲は、初演時から非常に高く評価されており、この編成のための室内楽作品としては現代でも最もよく演奏される作品です。それぞれ楽器の音色や技巧性を存分に理解しているだけではなく、形式的にも優れている作品を、この「夢」のような共演でお届けしたいと思います。

C.ドビュッシー

：ピアノ三重奏曲 ト長調 より 第1、3、4楽章

F.メンデルスゾーン

：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 Op.49 より 第1、4楽章

**佐山 裕樹** Yuki Sayama [チェロ]2021、2022年度奨学生
桐朋学園大学

第13回ビバホールチェロコンクール第1位。第70回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部東京大会および全国大会第1位。クロンベルク・アカデミー(ドイツ)で行われたチェロマスタークラス2018にて、フランス・ヘルメルソン賞を受賞。第29回青山音楽賞新人賞。チェロを宮田豊、倉田澄子各氏に師事。室内楽を山崎伸子、練木繁夫各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部チェロ科を首席で卒業。桐朋学園大学チェロアンサンブル・サイトウ奨学生。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。

この曲はドビュッシーが18歳のときに作曲をした初期の作品で、作曲から100年ほど楽譜が発見されなかったため演奏頻度は決して多くはありませんがメロディの美しさはその若さを忘れるほどです。原曲はヴァイオリン・チェロ・ピアノのために書かれていましたが今回はヴァイオリンではなくフルートでお聞きいただけます。フルートとチェロとピアノによるドビュッシーのトリオは果たしてどのような化学反応が起こるのかお楽しみください。

**佐々木 つくし** Tsukushi Sasaki [ヴァイオリン]2021、2022年度奨学生
東京藝術大学

第87回日本音楽コンクール第2位、あわせて聴衆賞、黒柳賞を受賞。第18回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。その他、数々のコンクールで入賞を果たす。東京藝術大学内にて安宅賞、宮田亮平奨学金、アカンサス音楽賞を受賞。これまでに、東京シティア・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。NHK FM『リサイタル・パッショ』に出演。また、アーテム弦楽四重奏団のメンバーとしてプロジェクトQに出演するなど、室内楽にも積極的に取り組む。これまでに、清水高師、渡辺玲子、玉井菜採の各氏に師事。現在、北ドイツのリューベック音楽大学院にてH.ミュラー氏に師事。

裕福な家庭に生まれ、幼いころから音楽の才能に恵まれたメンデルスゾーンは、非常に端正で、かつ天衣無縫ともいえる明るく軽やかな音楽性の持ち主としてイメージされますが、実はシリアスな表情を見せる作品も数多くあります。このピアノトリオもそのひとつで、ロマン派特有の哀愁漂う旋律や、情熱的な盛り上がりを見せるコーダなどが特徴的です。今回、ドイツで学んでいる3人でこの作品を演奏できることがとても楽しみです。

**桑原 志織** Shiori Kuwahara [ピアノ]2021、2022年度奨学生
ベルリン芸術大学大学院

2021年アルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール(イスラエル)にて日本人史上最高位第2位、44年ぶりの上位入賞を果たす。2019年プゾーニ国際ピアノコンクール第2位、あわせてプゾーニ作品最優秀演奏賞。2018年東京藝術大学ピアノ専攻首席卒業、伊藤恵氏に師事。同大学在学中にマリア・カナルス国際音楽コンクール、ヴィオッティ国際音楽コンクールともに第2位。日本音楽コンクール第2位・岩谷賞(聴衆賞)。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校在学中にルーマニア国際音楽

コンクール第1位。ドゥシニキ国際ショパン音楽祭など国内外の演奏会に多数出演。オーケストラとの共演も多い。現在ベルリン芸術大学大学院にてK.ヘルヴィッヒ氏に師事。スタインウェイバリンプロモーション賞2022を受賞。

ベルリンからほど近いライプツィヒのメンデルスゾーンハウスを訪れたことがあります。どの部屋も優しい柔らかな色調で、特に彼の仕事部屋はパステルカラーで夢の詰まった宝石箱の様な空間でした。メンデルスゾーンのピアノトリオ1番は、ピアノトリオの代表曲ともされる不朽の名作です。3つの楽器が情熱的に絡み合い、途切れることなく旋律を紡いでゆく様を、本場ドイツの空気感ともにお届けしたいと思います。

**開原 由紀乃** Yukino Kaihara [ピアノ]2021、2022年度奨学生
ベルリン芸術大学

第14回東京音楽コンクールピアノ部門第3位。これまでに大友直人、渡邊一正、現田茂夫の各氏、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団など著名な指揮者、オーケストラと共演。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学、同大学大学院を首席で修了。高橋紀子、小嶋素子、白石光隆、伊藤恵、B.レーマンの各氏に師事。

ドビュッシーが18歳という、まさに彼が作曲家人生としてのスタートをきったころに、夢と希望と彼の才能に溢れたこの素敵な作品であるピアノトリオを、今回はフルートとチェロとピアノという編成で演奏させていただきます。本来であればヴァイオリンが奏でるパートをフルートの柔らかい音色で紡ぎ出されるドビュッシーの世界をお届けいたします。そして素晴らしい演奏家の皆様と共演できますこととても光栄に思っております。

**鳥羽 咲音** Sakura Toba [チェロ]2021、2022年度奨学生
桐朋学園大学、ベルリン芸術大学

2005年、ウィーン生まれ。2019年3月に初のソロ・リサイタルを開催し、以後沼尻竜典指揮/日本フィルハーモニー交響楽団、山田和樹指揮/横浜シンフォニエッタ、原田幸一郎指揮/富士山静岡交響楽団、大友直人指揮/群馬交響楽団などと共演。2019年には世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞した。使用楽器はアンネ＝ソフィ・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。6歳から毛利伯郎氏に師事。公益財団法人江副記念リク

ルード財団第50回奨学生。2022年10月よりベルリン芸術大学にてJ=P.マインツ氏に師事。

メンデルスゾーンのピアノ三重奏曲第1番は1839年9月23日に完成し、翌年2月にライプツィヒで初演されメンデルスゾーン自身がピアノ、ヴァイオリンは友人のフェルディナンド・ダヴィッドが担当しました。この曲を聴いたロベルト・シューマンは「ベートーヴェン以来、最も偉大なピアノ三重奏曲」だと評し、メンデルスゾーンを「19世紀のモーツァルト、最も輝かしい音楽家」だと称えたそうです。私たちは偶然にも3人とドイツ(ベルリンとリューベック)に留学しており、私たちが海外で感じた感動や魅力を余すところなく表現し、深い感動をお届けできるよう努めてまいります。



F.シューベルト	：「しばめる花」による序奏と変奏曲 Op.160、D802	清水 伶〔フルート〕、 山縣 美季〔ピアノ〕
O.メシアン	・幼な子イエスに注ぐ20の眼差しより ・第2曲「星の眼差し」、第10曲「喜びの聖霊の眼差し」	尾城 杏奈〔ピアノ〕
W.A.モーツァルト	：フルート四重奏曲 第1番 ニ長調 K.285、第4番 イ長調 K.298	石井 希衣〔フルート〕、 東 亮汰〔ヴァイオリン〕、 石原 悠企〔ヴィオラ〕、 佐山 裕樹〔チェロ〕

— 休憩 —

**清水 伶** Ryo Shimizu 〔フルート〕**2022年度奨学生**
ジュネーヴ高等教育院

1998年生まれ。東京音楽大学付属高等学校、東京音楽大学を経てジュネーヴ高等教育院学士課程卒業。現在は同音楽院修士ソリスト課程に在学中。第66回および第68回全日本学生音楽コンクール全国大会、第23回びわ湖国際フルートコンクール、第91回日本音楽コンクールなどで優勝。15歳で飯森範親指揮東京交響楽団とイペールの協奏曲を協演以降、群馬交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ルーマニア国立管弦楽団などと協演。小澤征爾音楽塾への3度の参加のほか、2022年には小澤征

爾、A.ネルソンスが指揮するサイトウ・キネン・オーケストラに参加した。これまでにフルートを堀井恵、神田寛明、工藤重典、J.ズーンの各氏に師事。

この作品は歌曲王・シューベルトの三大歌曲集のひとつに数えられる「美しき水車小屋の娘」の18曲目、「しばめる花」をもとに、彼自身がフルートとピアノのために作曲した変奏曲です。旅の若人による、届きそうで届かなかった女性への恋。焦燥感と絶望感のなか、まだどこか希望を捨てきれない心情が歌われています。枯れゆく「夢」が、また彼に生きる希望を与えている、そんな儚さど美しさを皆様と共有できればと思います。

ピアノ：山縣 美季 Miki Yamagata **2022年度奨学生**

※プロフィールはP.4参照

**石井 希衣** Kie Ishii 〔フルート〕**2021、2022年度奨学生**
パリ・エコールノルマル音楽院

福岡県出身。第10回神戸国際フルートコンクール第3位。第88回日本音楽コンクール第2位。第19回日本フルートコンヴェンションコンクール第1位、吉田雅夫賞受賞。つくばフルートコンクール2018第1位、中野雄&若林暢賞、戸部謹爾賞をあわせて受賞。北九州国際音楽コンクール全部門グランプリ、県知事賞受賞。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVに参加。桐朋学園芸術短期大学専攻科フルート専攻を第1位で修了。桐朋オーケストラアカデミー研修過程修了。東京藝術大学別科にて研鑽

を積む。ソリストとして東京フィルハーモニー交響楽団、横浜シンフォニエッタと共演。現在、パリ・エコールノルマル音楽院在学中。

モーツァルトが父親に送った手紙にフルートの文句がつつら書いているという有名な話がありますが、これほどフルートの長所を理解し、その魅力をふんだんに取り入れて秀作を沢山残したモーツァルトがほんとうにフルートを嫌いだったのか？謎は深まるばかりですが、演奏を聴いていたただのお客様に「きっとモーツァルトはフルートが大好きだったに違いない」と思っていたいただける演奏ができればこれほど嬉しいことはありません。私にとってこの作品は、いつか自分が演奏家になれば素敵な弦楽器奏者の方とご一緒したいと思っていた憧れの作品で、今回第一線で活躍されている皆さんとの共演が叫び嬉しく楽しみです！

**石原 悠企** Yuki Ishihara 〔ヴィオラ〕**2021、2022年度奨学生**
ベルリン芸術大学

第9回スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位、第2回ベートヴェン国際室内楽コンクール特別賞、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位ほか国内外のコンクールにて優勝、入賞多数。第36回霧島国際音楽祭にて、ヴァイオリンと室内楽のふたつの音楽祭賞と個人での音楽監督賞を受賞。桐朋学園大学音楽学部を経て、ベルリン芸術大学士課程を最高点で修了、現在同大学修士課程に在籍。2019～2021年バイエルン放送交響楽団オーケストラ・アカデミー

在籍。これまでに加藤知子、S.ガヴリーロフ、E.グルトゼッツァーの各氏に師事。
※ヴァイオリン専攻奨学生ですが、本公演はヴィオラを演奏いたします。

モーツァルトがフルート協奏曲や四重奏曲を書くきっかけは、F.ドゥジヤンという医師でアマチュアのフルーティストからの依頼でした。フルート嫌いのモーツァルトでしたが、それを感じさせないこれらの作品は傑作として今日でも親しまれています。フルートの持つ天国的な明るさや美しさに溢れた明瞭な書法の第1番に対して、その9年後に書かれた流行歌の主題による第4番は表現力の深さが魅力的な作品となっております。

**尾城 杏奈** Anna Ojiro 〔ピアノ〕**2022年度奨学生**
パリ・エコールノルマル音楽院

2020年ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。あわせて文部科学大臣賞、スタインウェイ賞を受賞。全日本学生音楽コンクール全国大会第1位。東京交響楽団、群馬交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、トロン交響楽団と共演。CD・DVD「高崎芸術劇場T-shotシリーズvol.4」/「スクリヤーピン・ピアノ」ナタ全集 Vol.1」をリリースし好評を得る。アカンサス音楽賞、同声会賞、藝大クラヴィアア賞を受賞し、東京藝術大学を卒業。同

大学院を経て現在パリ・エコールノルマル音楽院在学中。これまでに日比谷友紀子氏、東誠三氏、B.リグット氏に師事。

「幼な子イエスに注ぐ20の眼差し」はメシアンが書いた全作品のなかでも最高峰に位置する壮大な連作であり、キリストの生涯を題材にした20曲からなる曲集です。それぞれの作品には神の主題、神秘の愛の主題、星と十字架の主題、和音の主題が循環して使用されています。イエスの生誕を告げる第2曲は星（イエスの誕生）と十字架（イエスの死）の主題が使用され、第10曲は東洋の舞曲と呼ばれる一節から始まり、喜びの主題を中心に音楽が展開されます。彼が描いた色彩、光、夢、自然への愛、深い宗教性と歓喜に満ち溢れた音楽をお届けしたいと思います。

**東 亮汰** Ryota Higashi 〔ヴァイオリン〕**2021、2022年度奨学生**
桐朋学園大学、大学院

第88回日本音楽コンクール第1位。NHK Eテレ「クラシックTV」などメディア出演も多数。NHK交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団などと共演。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。これまでに森川ちひろ氏に師事。現在、辰巳明子氏に師事。オクタヴィア・レコードよりCDをリリース。インターネットラジオOTTAVA「東亮汰 カプリチオーソ・ムジカ」プレゼンター。NHK Eテレのアニメ「青のオーケストラ」の主人公の演奏を担当。2023年シャネル・ピグマリオン・テイズ参加アーティスト。Japan National Orchestraコメンター。

モーツァルトがフルート嫌いであったという説はよく知られていますが、それとは裏腹に、4曲残されたフルート四重奏曲はどれもそれぞれに美しい作品ばかりです。私自身、大学の音楽仲間とフルート四重奏のグループを組み、レッスンを受けていた経験があります。今回は素晴らしい先輩方とのフルート四重奏での共演を、大変楽しみにしています。

**佐山 裕樹** Yuki Sayama 〔チェロ〕**2021、2022年度奨学生**
桐朋学園大学

第13回ビバホールチェロコンクール第1位。第70回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部東京大会および全国大会第1位。クロンベルク・アカデミー（ドイツ）で行われたチェロマスタークラス2018にて、フランス・ヘルメルソン賞を受賞。第29回青山音楽賞新人賞。チェロを宮田豊、倉田澄子各氏に師事。室内楽を山崎伸子、練木繁夫各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）を経て、桐朋学園大学音楽学部チェロ科を首席で卒業。桐朋学園大学チェロアンサンブル・サイトウ奨学生。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ティプロマ・コース修了。

モーツァルトはフルートカルテットを4曲残しています。今回は第1番と第4番を演奏しますが1～3番はフルート協奏曲と同じ時期に、4番はそのおよそ10年後に書かれました。フルート嫌いという説があるモーツァルトですが10年という年月が離れた2つの作品に果たして違いはあるのかにも注目して聞いてみてください。私自身フルートカルテットの室内楽作品は初めてなのでどのように音が交わるのかとても楽しみです。

(出演順/学校名は奨学金給付時の在籍校)

※出演者からのメッセージをSNSにて公開中です。

F.チレア**G.ロッシーニ**

：歌劇「アドリアーナ・ルクヴール」より“さてモノローグだ”

：歌劇「セビリヤの理髪師」より“私は町のなんでも屋”

栗原 峻希〔バリトン〕、

桑原 志織〔ピアノ〕

G.タルティーニ

：ヴァイオリン・ソナタ ト短調「悪魔のトリル」

吉本 梨乃〔ヴァイオリン〕、

尾城 杏奈〔ピアノ〕

M.ラヴェル

：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ

東條 太河〔ヴァイオリン〕、

泉 優志〔チェロ〕

J.ブラームス

：チェロ・ソナタ 第2番 へ長調 Op.99 より 第1、4楽章

鳥羽 咲音〔チェロ〕、

桑原 志織〔ピアノ〕

**栗原 峻希** Takaki Kurihara 〔バリトン〕**2022年度奨学生**
サン・カルロ劇場オペラ研修場

東京藝術大学院オペラ専攻修了。R.スコット演出、テアトロ・オベラ・ジョコーザ《蝶々夫人》ヤマドリ役でイタリアデビュー。サン・カルロ劇場、ヴェルディ《ドン・カルロ》《マクベス》などに出演。イタリア声楽コンcorso ミラノ大賞受賞。シェリル・ミルンズオペラIDOL声楽コンクールにて聴衆賞を受賞。ロベルト・デシモーネ記念声楽コンクール第2位など受賞多数。《野村胡堂》芸術文化助成、文化庁新進芸術家海外研修生。イタリア三大歌劇場であるサン・カルロ劇場の第一期生に選出され、世界的歌手M.デヴィーアのもと研修を積む。

一曲目はオペラ《アドリアーナ・ルクヴール》より、舞台監督ミシヨネが、アドリアーナというスター歌手に実らぬ恋をして、舞台裏から彼女を夢見る、切ない歌を歌うシーンをお届けします。二曲目のオペラ《セビリヤの理髪師》では、街の人気者フィガロが、夢いっぱい力いっぱい街中で自分の仕事の宣伝を歌い上げるシーンです。サン・カルロ劇場で培ったイタリアの風を、皆様にお届けできるよう心を込めて歌います。

ピアノ：桑原 志織 Shiori Kuwahara **2021、2022年度奨学生**

※プロフィールはP.6参照

**東條 太河** Taiga Tojo 〔ヴァイオリン〕**2021、2022年度奨学生**
東京藝術大学

全日本学生音楽コンクール第1位。メニューイン国際コンクール第3位。日本音楽コンクール入選。ザルツブルクモーツァルトウム音楽大学に留学。P.アモイヤル氏に師事。帰国後、現在東京藝術大学音楽学部在籍。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。サントリーホール室内楽アカデミーフェロー。これまでに竹原久美子、原田幸一郎、漆原朝子、松原勝也、R.バスキエの各氏に師事。

この曲は“ドビュッシーの追憶に”と題されており、ドビュッシーへの追悼や尊敬の念が込められた曲だと思います。しかし和声的な作風であるドビュッシーとは対照的に、この曲は無調な場面や多声的な面が多々示されており、当時活躍していたバルトークの影響もあったのではないかと思います。ラヴェル独自の即興性を持った世界をお届けしたいと思います。

**鳥羽 咲音** Sakura Toba 〔チェロ〕**2021、2022年度奨学生**
桐朋学園大学、ベルリン芸術大学

2005年、ウィーン生まれ。2019年3月に初のソロ・リサイタルを開催し、以後沼尻竜典指揮/日本フィルハーモニー交響楽団、山田和樹指揮/横浜シンフォニエッタ、原田幸一郎指揮/富士山静岡交響楽団、大友直人指揮/群馬交響楽団などと共演。2019年には世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞した。使用楽器はアンネ＝ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。6歳から毛利伯郎氏に師事。公益財団法人江副記念リウルート財団第50回奨学生。2022年10月よりベルリン芸術大学にてJ=P.マインツ氏に師事。

このソナタは1886年の夏にスイスの避暑地トゥーン湖畔にて作曲されました。第1番のチェロ・ソナタから約21年を経過しており、このとき既に第1番から第4番までの交響曲も書き終えていました。私はベルリンに留学して約1年になりますが常に楽器から引き出す音色の変化について研究しておりブラームスの深みある音を再現できるように演奏してまいります。

ピアノ：桑原 志織 Shiori Kuwahara **2021、2022年度奨学生**

※プロフィールはP.6参照

(出演順/学校名は奨学金給付時の在籍校)



C.シンディング	： 4つの作品 Op.43 より 第3番 前奏曲	福田 麻子 [ヴァイオリン]、
J.フバイ	： カルメンによる華麗な幻想曲 Op.3-3	梅崎 秀 [ピアノ]
A.ドヴォルザーク	： ジプシーの歌 Op.55, B.104	上島 緑 [メゾソプラノ]、
G.ピゼー	： 歌劇「カルメン」より “ハバネラ (恋は野の鳥)”	越知 晴子* [ピアノ]
C.フランク	： ヴァイオリン・ソナタ イ長調 より 第1、4楽章	本田 莉愛 [ヴァイオリン]、
		梅崎 秀 [ピアノ]

— 休憩 —



©井村聖人

福田 麻子 Asako Fukuda [ヴァイオリン]

2022年度奨学生

東京音楽大学大学院

神奈川県出身。東京音楽大学、同大学院修士課程を首席で卒業、修了。在学中特別特待奨学生。現在同大学院博士後期課程に在学中。これまでに、小栗まぢ絵、大谷康子、原田幸一郎、藤原浜雄、玉井葉採の各氏に師事。第19回東京音楽コンクール弦楽器部門第1位、第87回日本音楽コンクール第3位、第16回クスター・シェンター国際ヴァイオリンコンクール(ドイツ)第2位およびバッハ賞、その他受賞多数。現在、守谷育英会、紀尾井ホール室内管弦楽団シーズンメンバー。サントリーホール室内楽アカデミー第6期生。チャネル・ピダマリオン・ティズ2022参加アーティスト。

ヴァイオリニストを志していたノルウェーの作曲家シンディングは沢山のヴァイオリンのための作品を残しています。湖や自然を彷彿とさせる優しい旋律のなかに切なさも感じられる素敵な小品です。カルメンによる華麗な幻想曲は、カルメンの死のテーマからはじまります。ミカエラの Aria、エスカミーリオの闘牛士の歌など、オペラの魅力を凝縮した作品です。大切な場面で演奏してきた曲を皆様にお聴きいただけることがとても嬉しいです。



©Marcella Ratsamy

本田 莉愛 Ria Honda [ヴァイオリン]

2022年度奨学生

ジュリアード音楽院

2021年アービンエムクライン国際コンクール第4位、2018年ヤングアーティスト財団アワード、2017年セゾン文化協会音楽コンクール第1位、2017年エムブライズ国際室内楽コンクール第1位。シートル交響楽団、カスケード交響楽団、オイストラフ交響楽団などと共演。WFMTの「Introductions」、NPRの「From the Top」、ワシントンD.C.のエバーメイコンサートシリーズにも出演。ロシア音楽経済学部卒業。ジュリアード音楽院大学院在籍。ヴァイオリンをリーリン教授に師事。使用楽器は、上野隆司財団より貸与されているGiovanni Battista Guadagnini, Turin 1779年製。

フランクのヴァイオリン・ソナタは1886年に、大親友のヴァイオリニストのウジェーヌ・イザイの結婚祝いとして作曲されました。大変気に入れられ、その後40年間イザイはこのソナタを演奏し続けました。当時、フランクはオルガニストとして知られていて、あまり人気のない作曲家でしたが、このソナタのおかげで彼はヨーロッパ中の音楽家から尊敬を集めました。現在、このソナタは大変愛されているヴァイオリンとピアノのための名作であり、感情に溢れる情熱的な演奏をお届けしたいと思います。



©FLUKAYA Yoshinobu/auraYZ

上島 緑 Midori Kamishima [メゾソプラノ]

2022年度奨学生

クレモナ モンテヴェルディ音楽院

松本深志高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て同大学院修了。卒業時に同声会賞を受賞。イタリア・スポレート実験歌劇場研修所、F.ルイーシ氏が音楽監督を務めるヴァッレ・ディートリア音楽祭アカデミア修了。グアルディアグレーレ音楽祭でのパーセル「テイドとエネアス」テイド役でデビューし、ユトレヒト古楽音楽祭にソリストとして出演するなど活躍の幅を広げている。イタリアサンコロンバード国際コンクール特別賞受賞。現在クレモナモンテヴェルディ音楽院に在籍し、ヴェネツィアではジョルジョ・チーニ財団においてヴィヴァルディの研究を続ける。令和2年度文化庁新進芸術家海外研修員。

流浪の旅を続け、自然を愛し音楽とともに生きるロマの人々。この世に生を享けた者として今この瞬間を愛して生きる。自由に執着することを恐れない「真の強さ」をドヴォルザークの作品を通して伝えます。そしてもう一曲は同じ民族から「カルメン」を。己の魂に常に正直にすることが彼らが言う本当の「自由」なら、それは人を受容することでも同じ。どちらの作品も、歌い手として自分の楽器を通して表現できる幸せを感じます。己の魂が今求める歌を選びました。



越知 晴子 Haruko Ochi [ピアノ]

2004～2006年度奨学生

京都市立芸術大学大学院修了。ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。同大学講師を経て帰国。第7回Josef-Suder国際歌曲コンクールにて最優秀伴奏者賞受賞。国内外の多くの演奏会に出演。演奏活動の傍ら新国立劇場、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールなどでコレパティールを務める。京都市立芸術大学、大阪音楽大学、神戸女学院大学非常勤講師。

E.イザイ	： 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 Op.27-2	東 亮汰 [ヴァイオリン]
R.シューマン	： 子供の情景 Op.15	梅崎 秀 [ピアノ]
L.v.ベートーヴェン	： ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調「クロイツェル」Op.47 より 第1楽章	東條 太河 [ヴァイオリン]、 吉武 優* [ピアノ]

★:過去の奨学生



©井村聖人

東 亮汰 Ryota Higashi [ヴァイオリン]

2021、2022年度奨学生

桐朋学園大学、大学院

第88回日本音楽コンクール第1位。NHK Eテレ「クラシックTV」などメディア出演も多数。NHK交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団などと共演。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。これまでに森川ちひろ氏に師事。現在、辰巳明子氏に師事。オクタヴィア・レコードよりCDをリリース。インターネットラジオOTTAVA「東亮汰 カプリチオーソ・ムジカ」プレゼンター。NHK Eテレのアニメ「青のオーケストラ」の主人公の演奏を担当。2023年チャネル・ピダマリオン・ティズ参加アーティスト。Japan National Orchestraコアメンバー。

イザイは、バッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタを聴き、この曲集の作曲を決意したこともあり、全体の構成や、バルティータ第3番が冒頭に引用されていることをはじめ、節々にバッハに対して強い想いを抱いていることも感じ取れる作品。グレゴリオ聖歌「怒りの日」が循環楽想として用いられており、統一感は一貫しながらも、各楽章は個性的で別世界へと誘ってくれる作品です。今日はこの作品の世界を皆様と共有できたら嬉しいです。



東條 太河 Taiga Tojo [ヴァイオリン]

2021、2022年度奨学生

東京藝術大学

全日本学生音楽コンクール第1位。メニューイン国際コンクール第3位。日本音楽コンクール入選。ザルツブルクモーツァルトウム音楽大学に留学。Pアモイヤル氏に師事。帰国後、現在東京藝術大学音楽学部在籍。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。サントリーホール室内楽アカデミーフェロー。これまでに竹原久美子、原田幸一郎、漆原朝子、松原勝也、R.バスキエの各氏に師事。

ベートーヴェンは10曲のヴァイオリン・ソナタを残しており、第9番は交響曲3番「英雄」やピアノソナタ第23番「熱情」と同時期に作曲されました。“ほとんど協奏曲のように…”とベートーヴェン自身がつけたタイトルがありますが、まさに後期の作品を彷彿させるような雄大なスケールを持った傑作だと思います。このソナタが持つ情熱や大きさをお届けしたいと思います。



吉武 優 Masaru Yoshitake [ピアノ]

2011、2012年度奨学生

東京藝術大学および同大学院修了。またベルリン芸術大学にてJ.ルヴィエ氏のもとで研鑽を積み、国家演奏家資格課程を修了。飯塚新人音楽コンクールおよびかずさアカデミア音楽コンクール第1位。日本音楽コンクール入選。ジュネーヴ国際音楽コンクールセミファイナリスト。国内外の音楽祭に出演のほか、オーケストラとも多数共演。現在、桐朋学園大学および東京藝術大学、Sony CSLピアノアカデミー講師。



W.A.モーツァルト	：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K.191 より 第2、3楽章	保崎 佑〔ファゴット〕、 吉見 友貴*〔ピアノ〕
S.ラフマニノフ(保崎 佑編)	：6つの歌 Op.38 より 第5曲「夢」	
R.シューマン	：子供の情景 Op.15	梅崎 秀〔ピアノ〕
C.フランク	：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 より 第1、4楽章	本田 莉愛〔ヴァイオリン〕、 梅崎 秀〔ピアノ〕
—休憩—		

G.フォーレ	：3つの歌 Op.7 より 第1曲「夢のあとに」	柴田 花音〔チェロ〕、 梅崎 秀〔ピアノ〕
M.ブラッフ	：コル・ニドライ Op.47	
A.ドヴォルザーク	：ジプシーの歌 Op.55, B.104	上島 緑〔メゾソプラノ〕、 越知 晴子*〔ピアノ〕
G.ビゼー	：歌劇「カルメン」より “ハバネラ(恋は野の鳥)”	
C.シンディング	：4つの作品 Op.43 より 第3番 前奏曲	福田 麻子〔ヴァイオリン〕、 梅崎 秀〔ピアノ〕
J.フバイ	：カルメンによる華麗な幻想曲 Op.3-3	

★:過去の奨学生



保崎 佑 Yu Hozaki [ファゴット]

2022年度奨学生

東京音楽大学大学院

東京音楽大学大学院音楽研究科博士後期課程の全在籍期間を待奨学生として在籍し総代で修了。博士課程での研究が極めて学術性の高いものと評価され優秀賞を受賞し、日本初となるファゴットでの博士号(音楽)を取得する。在学中に瀬木芸術財団、ドイツ学術交流会の奨学生としてベルリンへ留学。第19回東京音楽コンクール第3位(1位なし)、第31回宝塚ベガ音楽コンクール第2位受賞。これまでにソリストとして東京交響楽団と共演、NHK交響楽団などのオーケストラに客演。現在、東京音楽大学アーティスト・ディプロマコースに特別待奨学生として在籍し、ファゴットを水谷上総氏に師事している。

モーツァルト(1756-1791)が18歳のときに作曲したこのファゴット協奏曲は、管楽器のための独奏協奏曲の最初の例とされています。しかし、自筆譜が失われており、初演者の確実な情報はありません。ファゴット奏者なら誰もが演奏する作品であり、コンクールやオーケストラの入団試験では必ず課題曲になり、演奏家としての「夢」をつかむための音楽作品。今回はピアノの名手である吉見さんのピアノ伴奏版による演奏をお届けいたします。

独奏ファゴットのための音楽作品を概観すると、バロック音楽の時代から古典派音楽の時代までに比較的多くの作曲例を確認することができますが、とりわけロマン派の時代になるとその数は非常に少なくなります。実際に、ロシアを代表するラフマニノフ(1873-1943)も独奏ファゴットのための作品は書いていません。本日は、彼の最後の歌曲作品となった作品38番の「夢」をファゴット用に編曲して演奏します。



吉見 友貴 Yuki Yoshimi [ピアノ]

2019、2020年度奨学生

高校2年次在籍中、第86回日本音楽コンクールで最年少優勝を果たす。チャンネル・ビッグマリオン・テイズ2019アーティスト。これまでに東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団などと共演。



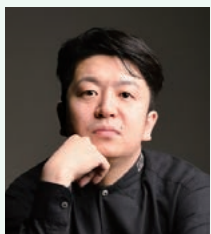
本田 莉愛 Ria Honda [ヴァイオリン]

2022年度奨学生

ジュリアード音楽院

2021年アービンエムクライン国際コンクール第4位、2018年ヤングアーツ財団アワード、2017年セジョン文化協会音楽コンクール第1位、2017年エムプライズ国際室内楽コンクール第1位。シアトル交響楽団、カスケード交響楽団、オイストラフ交響楽団などと共演。WFMTの「Introductions」、NPRの「From the Top」、ワシントンD.C.のエバーメイコンサートシリーズにも出演。コロナピア大学経済学部卒業。ジュリアード音楽院大学院在籍。ヴァイオリンをリーリン教授に師事。使用楽器は、上野隆司財団より貸与されているGiovanni Battista Guadagnini, Turin 1779年製。

フランクのヴァイオリン・ソナタは1886年に、大親友のヴァイオリニストのウジェーヌ・イザイの結婚祝いとして作曲されました。大変気に入れられ、その後40年間イザイはこのソナタを演奏し続けました。当時、フランクはオルガニストとして知られていて、あまり人気のない作曲家でしたが、このソナタのおかげで彼はヨーロッパ中の音楽家から尊敬を集めました。現在、このソナタは大変愛されているヴァイオリンとピアノのための名作であり、感情に溢れる情熱的な演奏をお届けしたいと思います。



梅崎 秀 Shu Umezaki [ピアノ]

2022年度奨学生

桐朋学園大学

福岡県北九州市出身。桐朋学園大学卒業。第88回日本音楽コンクール第2位など多くのコンクールで入賞。令和3年度北九州市民文化奨励賞受賞。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団ほか多くのオーケストラと共演。現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ生として在籍し朴久玲氏に師事。チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院にてE.ヴィルサラーゼ氏に師事。2021年度江崎スカラシップ奨学生。

今回のテーマが夢。真っ先に浮かんだのは「子供の情景」のなかの一曲、「夢」という意味を持つトロイメライでした。夢と一重に言っても、その種類は沢山あります。例えば将来の夢、寝ているときに見る夢…そこで、この「子供の情景」という曲集自体が、子ども心を描いた大人のための作品であり、大人にとっての夢だと感じ、全曲お届けさせていただきます。演奏を通して、皆さんの子どものころの夢や、思い出など想いに浸っていただけたら幸いです。



柴田 花音 Canon Shibata [チェロ]

2022年度奨学生

トロント王立音楽院 グレン・グールド・スクール

第14回ビバホールチェロコンクール第1位、Robert W. and G. Ann Corcoran Concerto Competition 2022グランプリ受賞(カナダ)、ほか受賞多数。第52回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。現在H.J.ジェンセン氏に師事。2023年9月よりアメリカ・ノースウェスタン大学ピーネン音楽院へ特別待奨学生として入学予定。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたGiovanni Grancino(1694年製)、使用弓は西村賢治氏より貸与されたEugène Sartory。

「夢のあとに」は夢で出会った美しい女性と過ごす幻想的な時間が描かれ、やがて夢から覚めた男性が「あの美しい女性の幻影を返してくれ」と1人寂しく叫ぶ姿が描かれている曲です。チェロの広い音域を使った甘美で幻想的な音色が心に響く美しい作品です。ユダヤ教の祈りの意味を持つコル・ニドライ。戦争やテロ・自然災害など、心痛むできごとが続く世界に1日でも早い平和への祈りを込めて演奏させていただきます。



福田 麻子 Asako Fukuda [ヴァイオリン]

2022年度奨学生

東京音楽大学大学院

神奈川県出身。東京音楽大学、同大学院修士課程を首席で卒業、修了。在学中特別待奨学生。現在同大学院博士後期課程に在学中。これまでに、小栗まち絵、大谷康子、原田幸一郎、藤原浜雄、玉井葉探の各氏に師事。第19回東京音楽コンクール弦楽器部門第1位、第87回日本音楽コンクール第3位、第16回クロースターシェンター国際ヴァイオリンコンクール(ドイツ)第2位およびパッハ賞、その他受賞多数。現在、守谷育英会、紀尾井ホール室内管弦楽団シーズンメンバー。サントリーホール室内楽アカデミー第6期生。チャンネル・ビッグマリオン・テイズ2022参加アーティスト。

ヴァイオリニストを志していたノルウェーの作曲家シンディングは沢山のヴァイオリンのための作品を残しています。湖や自然を彷彿とさせる優しい旋律のなかに切なさも感じられる素敵な小品です。カルメンによる華麗な幻想曲は、カルメンの死のテーマからはじまります。ミカエラのアリア、エスカミーリョの闘牛士の歌など、オペラの魅力を凝縮した作品です。大切な場面で演奏してきた曲を皆様にお聴きいただけることがとても嬉しいです。



上島 緑 Midori Kamishima [メゾソプラノ]

2022年度奨学生

クレモナ モンテヴェルディ音楽院

松本深志高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て同大学院修了。卒業時に同声会賞を受賞。イタリア・スボレート実験歌劇場研修所、F.ルイーシ氏が音楽監督を務めるヴァッレ・ディートリア音楽祭アカデミア修了。グアルディアグレーレ音楽祭でのパーセル「ティドとエネアス」ティド役でデビューし、ユトレヒト音楽音楽祭にソリストとして出演するなど活躍の幅を広げている。イタリアサンコロンバノ国際コンクール特別賞受賞。現在クレモナモンテヴェルディ音楽院に在籍し、ヴェネツィアではジョルジョ・チャーニ財団においてヴィヴァルディの研究を続ける。令和2年度文化庁新進芸術家海外研修員。

流浪の旅を続け、自然を愛し音楽とともに生きるロマの人々。この世に生を享けた者として今この瞬間を愛して生きる。自由に執着することを恐れない「真の強さ」をドヴォルザークの作品を通して伝えます。そしてもう一曲は同じ民族から「カルメン」を。己の魂に常に正直にすることが彼らが言う本当の「自由」なら、それは人を愛することでも同じ。どちらの作品も、歌い手として自分の楽器を通して表現できる幸せを感じます。己の魂が今求める歌を選びました。



越知 晴子 Haruko Ochi [ピアノ]

2004～2006年度奨学生

京都市立芸術大学大学院修了。ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。同大学講師を経て帰国。第7回Josef-Suder国際歌曲コンクールにて最優秀伴奏者賞受賞。国内外の多くの演奏会に出演。演奏活動の傍ら新国立劇場、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールなどでコレペティートルを務める。京都市立芸術大学、大阪音楽大学、神戸女学院大学非常勤講師。

ローム ミュージック ファンデーション事業概要

ローム ミュージック ファンデーションは、2つの柱を軸に音楽文化支援活動を行っています。

1

音楽文化の発展 ～音楽家の育成～

- 奨学援助
- ローム ミュージック セミナー
- 京都・国際音楽学生フェスティバル
- 小澤征爾音楽塾

など

2

音楽文化の普及 ～聴衆の拡大～

- ローム ミュージック フェスティバル
- 音楽活動への助成
- Kyoto×Classics
- 新国立劇場
高校生のためのオペラ鑑賞教室

など

音楽文化の発展～音楽家の育成～

<奨学援助事業>

毎月の奨学金給付に加え、認定式・報告会、スカラシップ コンサートなどを実施。



撮影：佐々木卓男

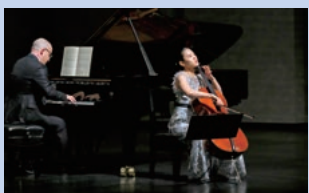


<ローム ミュージック セミナー>

ローム ミュージック フレンズが講師を務めるセミナー。2019年度より宮田大テコロラスを実施。



撮影：佐々木卓男

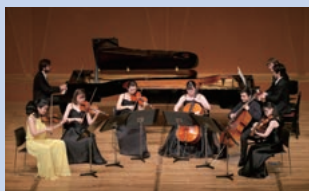


<京都・国際音楽学生フェスティバル>

国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から学生を京都に招いて開催するフェスティバル。



撮影：佐々木卓男



<小澤征爾音楽塾>

小澤征爾音楽塾の各種公演を共催。また小学生を対象とした「子どものためのオペラ」も共催。



撮影：大塚道治



音楽文化の普及～聴衆の拡大～

<ローム ミュージック フェスティバル>

ローム ミュージック フレンズが出演する音楽祭を春は京都、秋は東京にて開催。

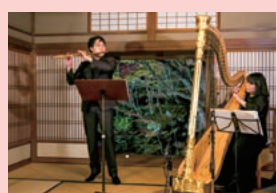


撮影：佐々木卓男



<Kyoto × Classics>

京都の名所からクラシックの名曲をお届けするオンラインコンサート。



<新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室への助成>

感性豊かな高校生がオペラに接していただく機会を支援。

<音楽活動への助成>

国内外における演奏活動や音楽を通じた調査・研究への助成を実施。

ローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の普及と発展のため、これからの音楽界を担う若い音楽家の夢をサポートしています。

2024年度奨学生募集中

【締切】2023年9月14日（木）17時

- 給付金額 月額30万円(返済不要)
- 給付期間 原則として1年間、2024年9月～2025年8月
- 応募資格
 - ・日本国籍を有し、国内外の教育機関で音楽を学ぶ方
 - または、外国籍を有し、日本の教育機関で音楽を学ぶ方(入学を予定している方も応募可)
 - ・年齢不問
 - ・更新は1回まで可(最大2年間)



ご応募はこちらから

～奨学生行事～

- ・認定式、報告会
- ・スカラシップ コンサート
- ・懇親会
- ・アーティスト研修会



撮影：佐々木卓男

Webサイト内のブログにて現役奨学生からのレポートを掲載中。過去奨学生分もぜひご覧ください!



奨学生をはじめ支援事業のなかで関わった音楽家「ローム ミュージック フレンズ」は、1991年設立時よりこれまでで4,862人になります。

ローム ミュージック フレンズ	(2023年7月現在)
奨学生	540人
ミュージックセミナー受講生	8人
音楽セミナー受講生	333人
音楽在外研究生	64人
京都・国際音楽学生フェスティバル出演者	2,646人
小澤征爾音楽塾 塾生	1,530人
合計 (複数の事業に関わった音楽家がいるため、各事業の人数合計とは一致していません)	4,862人

スカラシップコンサートのあゆみ

撮影: 佐々木卓男

スカラシップコンサートのあゆみ

撮影: 佐々木卓男

2013年

京都文化博物館
別館ホール



Vol.1



Vol.2

2014年

京都文化博物館
別館ホール



Vol.3



Vol.4



Vol.5

2015年

京都文化博物館
別館ホール



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9

2016年

京都府立府民ホール
アルティ



Vol.10



Vol.11



Vol.12

2017年

京都府立府民ホール
アルティ



Vol.14



Vol.15



Vol.13

2018年

京都府立府民ホール
アルティ



Vol.16



Vol.17



Vol.18

2019年

京都府立府民ホール
アルティ



Vol.19



Vol.20

2020年

新型コロナウイルス感染症のため
中止



Vol.21



Vol.22

スカラシップコンサートのあゆみ

撮影：佐々木卓男、各務あゆみ

スカラシップコンサートのあゆみ

撮影：佐々木卓男、各務あゆみ

2021年
京都府立府民ホール
アルティ



Vol.23



Vol.24



Vol.35



Vol.37



Vol.38



Vol.25



Vol.27



Vol.28



Vol.39

2022年
浜離宮朝日ホール



Vol.36



Vol.29



Vol.30

2021年
浜離宮朝日ホール



Vol.40



Vol.41



Vol.26



Vol.31



Vol.32

2022年
京都府立府民ホール
アルティ



Vol.33



Vol.34

これまでの出演者一覧

(五十音順)

2013年	石田啓明(ピアノ)、入江一雄(ピアノ)、尾池亜美(ヴァイオリン)、大岡仁(ヴァイオリン)、倉澤杏菜(ピアノ)、小山裕幾(フルート)、佐藤彦大(ピアノ)、鈴木愛美(ソプラノ)、瀧村依里(ヴァイオリン)、中川恵美里(ソプラノ)、藤元高輝(クラシックギター)、堀江牧生(チェロ)、松本大樹(クラシックギター)、湯本亜美(ヴァイオリン)、吉田友昭(ピアノ)、吉田誠(クラリネット)
2014年	阿部礼奈(フルート)、岡本侑也(チェロ)、景山梨乃(ハーブ)、加藤文枝(チェロ)、岸本萌乃加(ヴァイオリン)、工藤奈帆美(ピアノ)、近藤圭(バリトン)、齋藤一也(ピアノ)、長尾春花(ヴァイオリン)、成田達輝(ヴァイオリン)、萩原麻未(ピアノ)、浜野与志男(ピアノ)、藤江扶紀(ヴァイオリン)、藤谷佳奈枝(ソプラノ)、本多啓佑(オーボエ)、山根一仁(ヴァイオリン)、吉田友昭(ピアノ)、湯本亜美(ヴァイオリン)、米津真浩(ピアノ)
2015年	井坂実樹(フルート)、石村純(ピアノ)、今田篤(ピアノ)、上野通明(チェロ)、江澤茂敏(ピアノ)、大江馨(ヴァイオリン)、岡本侑也(チェロ)、喜多宏丞(ピアノ)、木村善明(バスバリトン)、小林愛実(ピアノ)、小林沙羅(ソプラノ)、齋藤一也(ピアノ)、佐藤麻理(ピアノ)、周防亮介(ヴァイオリン)、反田恭平(ピアノ)、田村響(ピアノ)、中桐望(ピアノ)、沼澤淑音(ピアノ)、原麻里亜(ヴァイオリン)、藤江扶紀(ヴァイオリン)、務川慧悟(ピアノ)、毛利文香(ヴァイオリン)、吉田南(ヴァイオリン)
2016年	井坂実樹(フルート)、上野通明(チェロ)、大野若菜(ヴィオラ)、岡本誠司(ヴァイオリン)、加藤麻衣(ソプラノ)、上村文乃(チェロ)、小林海都(ピアノ)、崎谷明弘(ピアノ)、周防亮介(ヴァイオリン)、鈴木舞(ヴァイオリン)、反田恭平(ピアノ)、内匠慧(ピアノ)、田原綾子(ヴィオラ)、辻彩奈(ヴァイオリン)、坪井夏美(ヴァイオリン)、中桐望(ピアノ)、中島諒(サクソフォン)、原麻里亜(ヴァイオリン)、福田廉之介(ヴァイオリン)、三井静(チェロ)、務川慧悟(ピアノ)、山田剛史(ピアノ)、吉田南(ヴァイオリン)
2017年	石井楓子(ピアノ)、梅村知世(ピアノ)、加藤大樹(ピアノ)、倉富亮太(ヴァイオリン)、黒岩航紀(ピアノ)、黒川侑(ヴァイオリン)、笹沼樹(チェロ)、鈴木舞(ヴァイオリン)、内匠慧(ピアノ)、田原綾子(ヴィオラ)、千葉水晶(ヴァイオリン)、辻彩奈(ヴァイオリン)、坪井夏美(ヴァイオリン)、中島諒(サクソフォン)、林佑子(ソプラノ)、日高志野(ピアノ)、福田廉之介(ヴァイオリン)、丸山凧乃(ピアノ)、三井静(チェロ)、宮里直樹(テノール)、務川慧悟(ピアノ)、吉澤淳(ソプラノ)



これまでの出演者一覧

(五十音順)

2018年	荒井優利奈(ヴァイオリン)、五十嵐薫子(ピアノ)、石井楓子(ピアノ)、伊東裕(チェロ)、入江一雄(ピアノ)、梅村知世(ピアノ)、岡本誠司(ヴァイオリン)、小川恭子(ヴァイオリン)、越知晴子(ピアノ)、加藤大樹(ピアノ)、北川千紗(ヴァイオリン)、黒岩航紀(ピアノ)、黒川侑(ヴァイオリン)、黒田哲平(ピアノ)、小林竜成(ヴァイオリン)、佐藤晴真(チェロ)、杉田恵理(ヴィオラ)、住谷美帆(サクソフォン)、千葉水晶(ヴァイオリン)、林佑子(ソプラノ)、日高志野(ピアノ)、深瀬廉(バリトン)、藤原秀章(チェロ)、水野優也(チェロ)、森山まひる(ヴァイオリン)、安田理沙(ヴァイオリン)、吉江美桜(ヴァイオリン)、吉澤淳(ソプラノ)、吉武優(ピアノ)
2019年	荒井優利奈(ヴァイオリン)、五十嵐薫子(ピアノ)、上野明子(ヴァイオリン)、小川恭子(ヴァイオリン)、小野田有紗(ピアノ)、北川千紗(ヴァイオリン)、城戸かれん(ヴァイオリン)、黒田哲平(ピアノ)、佐藤采香(ユーフォニアム)、佐藤晴真(チェロ)、篠原悠那(ヴァイオリン)、外村理紗(ヴァイオリン)、高木凜々子(ヴァイオリン)、瀧本実里(フルート)、中村太地(ヴァイオリン)、野上真梨子(ピアノ)、樋口一朗(ピアノ)、久未航(ピアノ)、櫃本瑠音(チェロ)、深瀬廉(バリトン)、又吉秀樹(テノール)、丸山凧乃(ピアノ)、水野優也(チェロ)、森田啓佑(チェロ)、八木瑛子(フルート)、山田唯雄(クラシックギター)、吉江美桜(ヴァイオリン)
2020年	新型コロナウイルス感染症のため中止
2021年	秋山紗穂(ピアノ)、有富萌々子(ヴィオラ)、五十嵐薫子(ピアノ)、伊東裕(チェロ)、大関万結(ヴァイオリン)、太田糸音(ピアノ)、小野田有紗(ピアノ)、香月麗(チェロ)、木口雄人(ピアノ/歌曲伴奏)、城戸かれん(ヴァイオリン)、小井土文哉(ピアノ)、齋藤優貴(クラシックギター)、阪田知樹(ピアノ)、佐藤采香(ユーフォニアム)、佐藤元洋(ピアノ)、篠原悠那(ヴァイオリン)、清水勇磨(バリトン)、菅沼起一(音楽学)、高橋維(ソプラノ)、竹山愛(フルート)、田中祐子(指揮)、千葉遥一郎(ピアノ)、土岐祐奈(ヴァイオリン)、東田範子(音楽学)、中嶋俊晴(カウンターテナー)、中村太地(ヴァイオリン)、野上真梨子(ピアノ)、樋口一朗(ピアノ)、櫃本瑠音(チェロ)、藤原秀章(チェロ)、古海行子(ピアノ)、外村理紗(ヴァイオリン)、松島理紗(ソプラノ)、向井響(作曲)、向井航(作曲)、三村梨紗(トランペット)、森田啓佑(チェロ)、八木瑛子(フルート)、安田理沙(ヴァイオリン)、山下愛陽(クラシックギター)、山本明尚(音楽学)、吉見友貴(ピアノ)、吉本梨乃(ヴァイオリン)、リード希亜奈(ピアノ)



これまでの出演者一覧

(五十音順)

2022年

秋山紗穂(ピアノ)、有富萌々子(ヴィオラ)、石井希衣(フルート)、
石原悠企(ヴァイオリン)、上野明子(ヴァイオリン)、
太田糸音(ピアノ)、小野田健太(作曲)、開原由紀乃(ピアノ)、
香月麗(チェロ)、木口雄人(ピアノ/ 歌曲伴奏)、
橋和美優(ヴァイオリン)、桑原志織(ピアノ)、小井土文哉(ピアノ)、
齋藤優貴(クラシックギター)、佐々木つくし(ヴァイオリン)、
佐藤元洋(ピアノ)、佐山裕樹(チェロ)、清水勇磨(バリトン)、
進藤実優(ピアノ)、高木凜々子(ヴァイオリン)、高橋維(ソプラノ)、
谷昂登(ピアノ)、東條太河(ヴァイオリン)、
土岐祐奈(ヴァイオリン)、鳥羽咲音(チェロ)、中橋祐紀(作曲)、
服部百音(ヴァイオリン)、久未航(ピアノ)、古海行子(ピアノ)、
三村梨紗(トランペット)、向井響(作曲)、向井航(作曲)、
山下愛陽(クラシックギター)、山本明尚(音楽学)、吉見友貴(ピアノ)、
リード希亜奈(ピアノ)



Rohm Music
Foundation 
ロームミュージックファンデーション

